

佐土原RC

週報



国際ロータリー第2730地区
佐土原ロータリークラブ
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
例会場 ホテル神宮寺 0985-73-0015

自分を超えた眼を Look Beyond Yourself

Ryan
ラジエンドラ・K. サバー
1991~1992年度R I 会長

会員増強拡大月間

1991. 8. 23 (金) 第187回例会

1. 点鐘
2. ロータリーソング「我等の生業」
3. 「四つのテスト唱和」
4. 食事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 各委員会報告
8. 卓話
9. 点鐘

第186回例会記録

(平成3. 8. 9)

会長の時間

濱田 松太郎

猛暑の連続であったこの夏も、立秋の声を聞くと同時に、朝夕めっきり涼気を感じるようになりました。しかし今夏は色々な気象上の変化により、オニニエル現象とも、またマニラのビナトゥボ火山噴火による二酸化硫黄が成層圏の水蒸気と反応を起こし、硫黄エアロゾルの厚いペールを作り、地球への“太陽光の入射を強く遮り”という影響で、今後冷夏が続くと特に東北地方における低温が続き、イモチ病の発生等が予想され憂慮されています。

ところで本日は、46年前の昭和20年8月9日(1945年)午前11時2分に長崎市に原子爆弾が投下され、また8月6日には広島市に同じく投下されました。一瞬のうちに双方で今までに262,880人の尊い人命を奪っ

たのです。今さらながら核戦争の悲惨さを目のあたりに経験しました我々日本人として、今後孫、子の子の末までも絶対核兵器による一切の戦争の廃絶を訴えなければいけないと思います。犠牲となられました死没者に対し、心より卓惣の意を捧げますとともに、ご冥福を祈り世界恒久平和の確立を念願いたします。

ここで、「平和宣言」と「被爆犠牲者並びに太平洋戦争戦没者」の靈に対し、本例会場において1分間の黙祷を捧げたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

(一同起立して黙祷を捧げました。)

ロータリーの信条は、例会出席を通して奉仕の理想に努めながら親睦を世界的平和を推進することにあります、いかに平和の意味が大切であるかということがさまざまと痛感せられます。皆様もすでにご承知のとおりですが、このたび米ソ2大超大国の間に、核弾頭制限交渉が進められ、去る6月30日モスクワにおいて「START」調印の運びとなりましたが、ここにおいてもロータリー精神が發揮され、その成果が現実のものとして実行に移されることが1ロータリアンとしての願いでもございます。

ロータリー創始者ポール・ハリスは次のようにラジオを通じて世界平和への提唱をしています。—「ロータリーは平和の世界のミニチュアであり、世界諸国がロータリーの仕組みを研究するならば平和に役立つであろう。ロータリアンは、寛容と友好があまねく実践されれば、す

事務局〒880-03宮崎県宮崎郡佐土原町大字上田島20(株)宮崎食品サービス内TEL 0985-73-0044

会長 浜田松太郎・副会長 児玉武文・幹事 鈴木正敏・会計 藤堂孝一・会報責任者 垂水敏雄

べての人が求めてやまない国際平和がもたらされるものと信ずる。」と。

次に、R I レポートとして、1991~92年度R I サバー会長より要請のメッセージが届いていますので読み上げます。

「人間としての成長・発展は、その人が無私の心で行動するか否かによって決まるものです。

全ロータリアンは、人類という家族に自分の善意を広げていくようにしていただきたい。今年度R I テーマ「自分を超えた眼を」は、人類の進歩を可能にしてきました。資質は無私の行為です。全ロータリアンは内なる力を理解し、夢とは、内なる平和、恐れと飢のない幸せな世界を意味します。使命とは、積極的な奉仕活動によってこの夢を現実なものとすることです。

1991~92年度は少くとも一つの主要なプロジェクトを遂行するよう各クラブに対して要請します。」

ボリオ・プラスについてごく最近の情勢をお伝えします。(1991年5月9日現在)

○補助金の授与が承認された国 97国
○授与した補助金と予定額の総額

U.S.\$ 172, 784, 114

○予防接種を受けることになる児童の総数

594, 527, 500人

○既に予防接種を受けた児童の推定数

271, 447, 689人

○委員会を通じて現金で支払われた寄付金額

U.S.\$ 226, 246, 628

○政府補助金を通じて受領した金額

U.S.\$ 7, 486, 961

ロータリー財団についてですが、来年(1992)6月18日はロータリー財団75周年を迎えます。このロータリー財団の始まりは、第6代R I 会長アーチ・クランフ氏が、「世界のためにになることを実施する」ということを提唱され創設されたもので、クラブ例会の折り75

秒をこのことを盛込んで広報されるよう要請が参っておりました。

第1回は、「振り返ると」というテーマです。古い言い習わし通り、事が起ころうとするときは、その影を自分の前に投げかける(前兆がある)ものです。このことはロータリーに当てはまります。というのは、ロータリアンはこの財団創立75周年中特に前方を見つめ、現在を計画し、作り上げているからです。ですが、少し振り返って見ましょう。

25年前の財団創立50周年の時を………。世界中のロータリアンの数は今の半分足らずでした。加入国数に至っては39国も少いという状況でした。3-Hも、ロータリーボランティンも、ボリオ・プラス・プログラムもありませんでした。その年の財団寄付は新記録で、米貨120万ドルに達しました。しかし1989~90年度寄付はその額の54倍です。

50周年のプログラムの費用は79万ドルで、これも新記録でした。しかし財団は、補助金や助成金としてその74倍を割り当てました。

1966~67年度は、28ヶ国の141人の学生に財団奨学金を授与しました。昨年は、71ヶ国964人の奨学生が奨学金を受け取りました。こういった数字はさて置き、財団は強力になっております。

こうしたロータリアンの投げかける影は今でも見ることができます。そして私たちの影は、明日の財団に向って伸びているところです。

次に、R I 2730地区ロータリー情報委員長外山三郎バスト・ガバナーよりのレポートが届いていますのでお知らせいたします。

★合同広報活動ラジオ放送開始のお知らせ

1番組のタイトル「みんな同じ空の下」
2番組内容 宮崎に在住する外国人は約2千人です。番組では、宮崎における生活についての感想、習慣や考え方や「お国ぶり」の違いを話の中心として、竹中はじめさんがインタ

ピューします。国際理解に役立つ番組になるかと思います。

3 放送時間 毎週土曜日 17:05 ~ 17:15

4 放送期間 8月3日より平成4年6月まで
以上のことについて皆さんのご意見をお聞かせくださいとのことですので、よろしくお願ひいたします。

幹事報告 鈴木正敏
例会変更通知が次のように届いています。

- ・小林RC 8月14日は特別休会
- ・延岡中央RC 8月15日は特別休会
- ・高鍋RC 8月15日は特別休会
8月29日は7:00 H泉屋
- ・宮崎中央RC 8月22日18:30 臨江亭
- ・小林中央RC 8月23日19:00 西ノ川

出席報告 委員長 神宮寺利夫
会員数 18名
H C 出席者数 16名
欠席者数 2名
出席率 88.89%
欠席者 齊藤・井下

ビジタ一
宮崎西RC 西岡恒之助君

国際奉仕委員会より 委員長 池田仁志
昨夜国際奉仕委員会が開かれました。
今年はイングランド1010地区からGSE交換メンバー6名が、10月27日16時20分宮崎空港着で当地区を訪れ、約1ヶ月にわたり宮崎・鹿児島に滞在して、各部門ごとに研修されるそうです。

佐土原RCの役割は、11月4日にシーサイドホテルにGSEメンバーを迎えて行き、佐土原駅発上り11時57分のJ特急「にちりん」に乗車できるよう手配すること、に決定しました
ただ問題になるのは、6名のメンバーの大型手荷物の運搬をどうするかということでありま

す。また、町内にイギリス人の通訳の方がおられるかどうかを調べていただき、もしいなければGSE委員会の方で手配することでした。

テーブルスピーチ 山脇忍

最近は少産・少死の時代といわれますが、特に少産が問題となりつつあります。

昭和60年度の出生数は143万人、死亡数は75万人で、自然増は68万人でした。

昭和63年度になると出生者が133万人、死亡者が79万人で、自然増は54万人となっています。つまり14万人の減です。

このように我が国の人口が減少していくのは少産に原因があると考えられます。

そこで本日は、男子が精力絶倫にならなければいけないという観点からお話ししたいと思います。巷間にはいろいろな健康法というものがあふれています。その中にはかなりマヤカシものもありますが、理に叶ったものもあります。

いま全国的に話題となっている「脱パンツ健康法」はその一つといえるでしょう。

パンツを脱いで寝ると、肩こり、腰痛、生理痛などの症状が解消したという体験談も多く寄せられているそうです。精力回復にもよいと。

これは学術的にも一理あると考えられます。

哺乳動物の精虫は体温以下で生産されます。人間の精虫は睾丸で生産されています。陰のうに皺が多いのは、表面積を大きくして熱交換を良くするためです。ですから、できるだけ睾丸は涼しいところがよいわけで、外気に触れさせる方がよいのです。43℃の湯に毎日30分睾丸を浸すと、18日目ごろから精虫の生産が止まり、その状態は50日間続くといわれています。

女性の場合は当初50万個の卵子が、思春期になると10万個に減ってきます。そして、それが成熟して排卵されるのは1月に1個です。

大体13歳ごろから50歳ぐらいまで排卵がありますので、約35年間で450個排卵する

ことになります。ただ、卵子が旧くなってくると、即ち40歳～50歳ぐらいになると、ダウン症候群を起こし易くなり、奇形児が生まれる危険性が高くなります。できるだけ若い卵子が望ましいわけです。

男性はどうかといいますと、精虫は毎日1億個ぐらい生産されています。しかし、個人差が極めて大きく、ストレスや社会的活動などに影響され、50歳で駄目になる人、70歳でも子どものできる人もいます。

絶えず刺激を与えること、色気を失わないこと、若い美しい女性を眺めることも必要だし、奥さんといつも仲よくすることも大事です。

妻を早く失った人は、精虫の生産が早く停止するようにもいわれています。

昭和53年の朝日新聞に新養生論というのが掲載されていましたが、その中に“ブリーフ・ツリガネ亡國論”というのがありました。

男子がブリーフ等で睾丸を締めつけるため、精虫の生産機能が低下し、人口が低下して国が滅ぶという意味のようです。

それで、せめて夜だけでも裸で寝るのがよい脱パンツで睾丸を冷やすのがよい、ということになります。

女性の場合も細菌の発生を抑える意味から、ストレス解消の点からも、脱パンツがよいと考えられます。

日本の着物は合理的に作られていると思います。空気の流通がよく、男性の迎え入れも容易にできます。

歳をとってからもやる気を失わず、チャレンジ精神が旺盛であれば、男性機能にも好影響を及ぼすと考えられます。

ロータリアンとしてお互い頑張りましょう。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

浩然の氣

「敢へて問ふ、夫子悪くにか長ぜる。」と。曰はく、「我言を知る。我善く吾が浩然の氣を養ふ。」と。

「敢へて問ふ。何をか浩然の氣と謂ふ。」と。曰わく、「言ひ難き也。其の氣為る也、至大至剛、直きを以て養ひて害すること無ければ、即ち天地の間に塞がる。其の氣為る也、義と道とに配す。是れ無ければ悞うる也。是れ集義の生ずる所の者にして、義襲ひて之を取るに非ざる也。行なひて心にこころよからざること有れば、即ち悞う。」と。（孟子 公孫丑上）

孟子の弟子である公孫丑がたずねた。

「しいておたずねしますが、先生はどんなところがすぐれておいでですか。」

孟子が答えた。「私は他人の言うことがよくわかり、私はよく浩然の氣を養っている。」と。

公孫丑は、「またしいておたずねしますが、浩然の氣とはどのようなものなのですか。」と質問した。

孟子は、「言葉では説明しにくい。だがしいて言ってみれば、その気はこの上もなく大きく、この上もなく強いもので、まっすぐな正しい心で養って害することがなければ、天地の間に充満するものである。浩然の気は、正義と人道とに伴って養われるもので、この正義と人道がなければ、その気は飢えしほんてしまう。この浩然の気は、日常生活において正義を繰り返し行って積み重ねてこそ自然に生じてくるものであって、正義が外から急に心にはいり込んで浩然の気が生ずるものではない。日常の行いで自分の心の中にやましい、正義と人道に反するところがあれば、この浩然の気はしほみ衰えてしまうのである。」と答えた。

浩然の氣は孟子の独特的修養法であり、主張である。「氣」とはもともと肉体と精神の根源的なエネルギーとも言うべきもので、それは養われる必要のあるものである。

「浩然の氣」は正義と人道とに原理的に支えられており、自己の内部にある「義」の実践と繰り返しの中から生まれてくるものである。

（三省堂修所編より）